



都跡公民館だより 春号

発行：(公財) 奈良市生涯学習財団
都 跡 公 民 館
〒630-8032 奈良市五条町 204-1
TEL / FAX : 0742(34)5954
<https://manabunara.jp/>
miato@manabunara.jp

都跡公民館に館長として赴任してきて一年が過ぎました。私は奈良市生涯学習財団の職員ですので、基本的には奈良市にある24の公民館内を異動します。利用者の方と話をしていると、「公民館同士なので、どこに行ってもあまり変化はないね」という会話になることがあるのですが、実は地域によってそれぞれ特性があるのと同様に公民館によってもいろいろな特色があります。

都跡公民館の特色は、先代の館長より地域交流の場をつくっていくことに特に力を入れており、この一年は試行錯誤の日々でした。まだまだ軌道に乗ったとは言い難く、この春からも引き続き取り組んでいこうと思っています。

また、他の公民館にはない取り組みとして、公民館隣にある旧田中家住宅のかまどを使った茶粥づくりや昭和の雰囲気が残る居間を使った回想法事業などがあります。今年度は昨年度の事業に引き続き、旧田中家の「かまどマスター」を養成しようという事業を新たに計画しています。

公民館の事業だけではなく、自主グループ活動も個性溢れるものばかりです。暖かい風が吹く今日この頃。日々の生活に新しい風を取り入れに公民館に来てみませんか。皆さまのご来館をお待ちしています。

主催講座のご案内

みあと幸齢者学級

昨年度までは、郷土学習や体操、音楽鑑賞などを通して、生きがいや楽しみを見つけながら仲間づくりをめざすことを目的に定員制で開催していましたが・・・、なんと、内容はそのままに

令和7年度からは申込不要!入場自由!

となりました。お友達とお誘いあわせのうえ、ぜひ、ご参加ください!お待ちしております!

◆4月10日(木)13:30~15:00

【開講式・音楽鑑賞】

オープニングは楽しく!でも珍しく!ということで、オープニングイベントとしてサクソフォン奏者を招いてミニコンサートをおこないます!

◆5月8日(木)13:30~15:00

【健康体操】

今年の夏も猛暑の予報です。暑さが序盤の5月こそ夏に向けてのカラダづくりのチャンス!

◆6月12日(木)13:30~15:00

【エンディングノート】(予定)

人生もまだまだ後半戦!人生を楽しみ、尽くすための準備や計画に必要なものについてお話を聞きます!



かまどマスター 養成講座



炊飯器の普及により、お釜でご飯を炊くことを知らない世代がほとんどとなってしまった昨今。昔ながらの薪で火をおこし、お米を炊く技術であったり、羽釜で炊いたお米の美味しさを後世に伝えていきたい!

ということで、「かまどマスター」として、都跡公民館の主催講座等に参加した地域の子ども達にお米炊きの指導をしてもらえる方を養成することにしました!

初回は火のおこし方や羽釜でのお米の炊き方のコツ、旧田中家のことなどについて学び、2回目は参加者だけでお米を炊きます。

ご興味のある方はぜひご応募ください!!

開催日時:4月27日(日)/5月25日(日)
10時~13時(全2回)

開催場所:都跡公民館及び旧田中家住宅

費用:500円(材料費)

申込方法:奈良市生涯学習財団HP内の「参加申込」フォームか、往復はがきに住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いてお申込みください。

締切:4月17日(木)





みあときっずチャレンジ隊 <1/12・2/2 開催>

大学生や若手社会人たちが様々な企画をして、地域の子供達とともに活動する講座です。1月、2月の活動では、1年間の振り返りを模造紙にまとめて、班ごとに発表をおこないました。

都跡で望む山焼き <1/25 開催>

公民館の立地環境を活かした講座です。朝から自主グループ活動の体験会や発表会をおこない、夕方からは部屋を真っ暗にして、若草山から上がる花火や山焼きの様子を2階の大会議室から鑑賞しました。

出張!高齢者ふれあいサロン <2/21開催>

地域の方々にもっと気軽に公民館事業に触れてもらおうと、地域の集会所等に出向いて主催講座をおこなっています。2月は朱雀園二丁目集会所で回想法をおこないました。思い出話に花が咲き、あっという間の時間でした。

de 愛♪みあとサロン <2/16・3/16開催>

みんなで昭和歌謡や童謡、唱歌をうたったあと、茶話会をおこないました。茶話会では、みなさん楽しそうにおしゃべりしておられました。来年度は趣向を変えての開催を検討中です。お楽しみに!

みあとこどもまつり <3/2 開催>

都跡地域子ども会さんとの共催事業で、オープニングコンサートをはじめ、おはなし会や魚釣り、射的大会などのイベントをおこないました。また景品として、わたがしやポップコーンが配られました。

無駄なくおいしく使い切る!調理の工夫と活用法 <3/11開催>

持続可能な社会の実現のために「フードロス」をテーマとして、野菜たっぷり豚まんや鮭の香味煮など冷蔵庫に余りがちな食材を使った料理をつくりました。

ふるさと「都跡」の宝

『河邊隆光』つてご存知ですか?

最終回

故郷「隆光再建の超昇寺」

四、超昇寺の再建

隆光の再建した超昇寺については、現在河邊家に残る一八八(文化一五)年と一八五二(嘉永五)年什物の記録から、どんな建物があったかその建物の大きさや、仏さまなどがわかる貴重な史料が現存されています。その史料を見てみましょう。

五、一八八(文化一五)年の史料

(主に、安置されていた仏様)

- 一、本堂 本尊釈迦如来像 脇侍左薬師如来像、右大日如来像
- 一、護摩堂、本尊不動明王像 脇侍童子像、聖徳太子像・阿弥陀如来像

六、一八五二(嘉永五)年の史料(主に建物)

- 一、本堂、梁行三間×桁行五間

七、再建した超昇寺

- 一、持仏堂(護摩堂) 一間半×二間半
- 一、庫裏、三間×六間半・四方に三尺の庇・総瓦葺(安永九年消失・天明二年再建)
- 一、その他、山門、二間×六尺・長屋、二間×六間。土蔵1間×三間・2軒。伴僧部屋、一間半×二間。鎮守社

八、また、現在

この隆光が住んだ超昇寺は、一七二四(享保九)年六月の隆光の命日から約一世紀後の史料であり、しかも明治の廃仏毀釈で廃寺となつていいますので、貴重な史料なのです。

隆光は一七二四(享保九)年六月七日、七五歳の生涯をここの超昇寺で閉じられます。毎年命日には隆光大僧正の業績を偲び顕彰する供養が、旧佐紀幼稚園の南側に眠る墓示の前で営まれています。

今、河邊家の菩提寺「歓喜寺」が二条町一丁目にあります。この表門は超昇寺から移されたと伝えられています。隆光の寺に安置されていた木造薬師如来像・釈迦如来像・大日如来像も歓喜寺に移されましたが、今は奈良国立博物館に寄託されています。

また、幼稚園の道路を挟んでの「佐紀神社」は超昇寺の守護神として、氏子によって現在も守られています。

(ふるさと「都跡」を語ろう会 溝邊文昭)



【歓喜寺 表門】

全九回にわたり、都跡地域から輩出された偉人のひとり、河邊隆光の事績を追ってきましたが、いかがだったでしょうか。これまでの記事をまとめたものを閲覧用として、今後公民館に設置しようと考えています。ご興味のある方はご覧になりに来てください。